

# 洞察を促すインテリジェンス

Agilent Revident LC/Q-TOF システム





# Revident

**確かな証拠により同定を一新**

Revident LC/Q-TOF で将来の課題に対応

# 未来のラボの 構築へ

競争力を維持し、変化する業界の要件に応えるためには、ワークフローソリューションの中核に高度な機器を据え、現在と将来の課題に対応する必要があります。また、より幅広いスクリーニングと以前測定した結果の再解析を通じて、新規および想定外の汚染物質にラボが確実に対処できるようにしなければなりません。

## Agilent Revident LC/Q-TOF システム

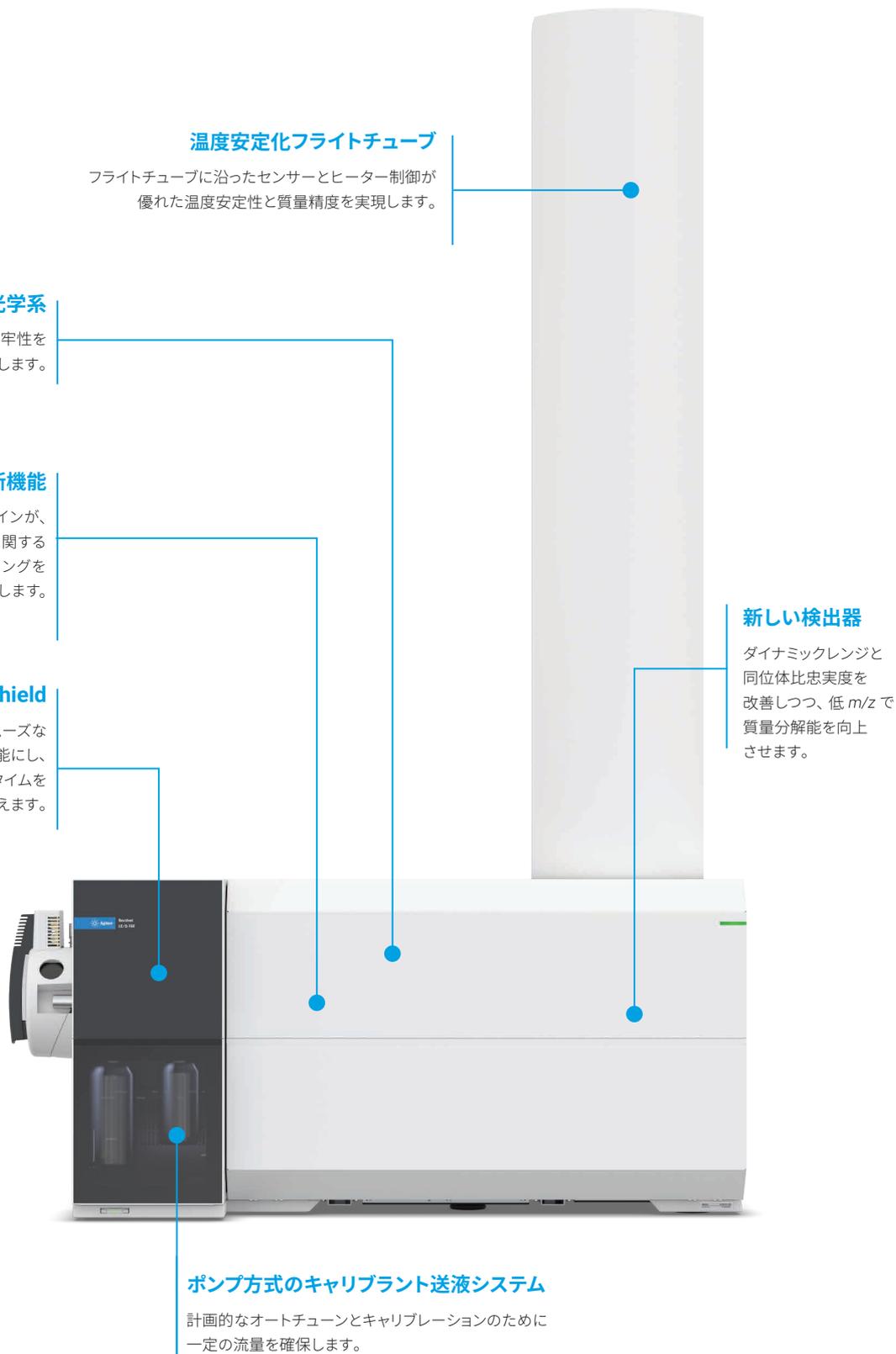
洗練された機器インテリジェンスによって稼働時間と生産性を大幅に向上する Revident 四重極飛行時間型 LC/MS システム (LC/Q-TOF) は、これらの課題に対する解決策となります。

複数のワークフロー機能で強化された Revident LC/Q-TOF は、対象の化合物を同定し、すばやく評価することが可能です。同位体比忠実度、質量精度、ダイナミックレンジの組み合わせにより、信頼できるデータの基盤となる優れたスペクトルを生成します。それによりワークフローの中核が確立され、より多くの化合物の調査、何度もやり直すことなく測定結果を確認し、規制への準拠、評価の維持が可能となります。



# ラボの可能性を広げる技術革新

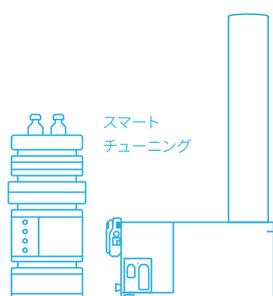
高性能で堅牢な Revident LC/Q-TOF 質量分析計は、非常に多くのサンプル測定と質の高い結果獲得を実現します。



## インテリジェンス機能で生産性が格段に向上

Agilent Revident LC/Q-TOF に搭載された複数のイノベーションによってラボの能力を向上させ、さらに高まるサンプルスループットと生産性の要求に応じることができます。高性能でありながら操作性に優れた搭載インテリジェンスにより、分析結果を素早く検証でき、分析スピードが上がります。また、メンテナンスが必要となる時期を予測してダウンタイムを低減できます。時間を短縮できる自動化ソフトウェアで事前にオートチューンとキャリブレーションをスケジュールできるため、業務開始時にはサンプルを分析できる状態にすることが可能です。

さらに、Agilent トリプル四重極 LC/MS (LC/TQ) と Q-TOF LC/MS システムとの間でユーザーエクスペリエンスが同じであるため、複数のプラットフォームを必要とするラボで操作を統一できます。



- ✓ 機器の性能を最大化
- ≡ 一貫性の向上
- 🕒 起動時間の短縮

### スマート機能で目標を超える生産性

Revident LC/Q-TOF に搭載されたイノベーションは、処理能力が最大に達しているという課題に対応できるように開発されており、スループットと効率を向上する新たな道を開きます。これらをすべて、機器やスタッフを新たに追加することなく、またラボの稼働時間を増やすことなく実現します。

### 勘に頼ることなく、最高の性能を実現

特定のアプリケーションを対象とした高分解能質量分析のチューニングは、時間がかかるプロセスです。Revident LC/Q-TOF の革新的なチューニングアルゴリズムなら、試行錯誤を繰り返さずに、最高の性能を引き出すことができます。さまざまなパラメータを同時に評価可能な、機械学習技術によるスマートな手順を活用すれば、起動時間の短縮に加え一貫性の向上も実現します。



- 🔧 アーリーメンテナンスフィードバック
- 📊 主要な稼働部
- 📍 主要な稼働部などのトラッキング

### 稼働時間を最大化、ダウンタイムを予測

予期せぬ機器の問題でダウンタイムが発生すれば、業務に支障をきたすこととなります。問題の原因を特定できなければ、さらに影響は広がります。Revident LC/Q-TOF は、動作状態を自らモニタリングし、システムの健全性の概要をリアルタイムで表示します。主要な装置の稼働部はトラッキングとモニタリングの対象となっており、アーリーメンテナンスフィードバック機能に含まれます。したがって、問題がいつどこで発生する可能性があるかを特定できます。

### 最も貴重なリソースである時間を最大化

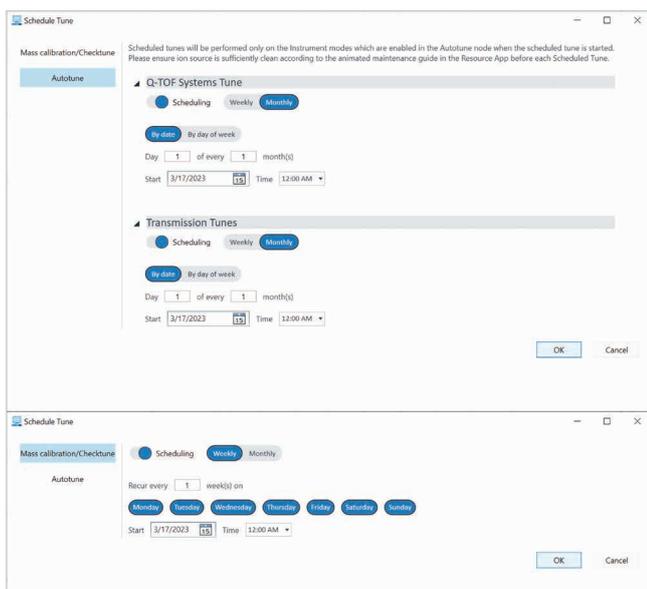
Intelligent Reflex ワークフローでは、データ評価の間も Revident LC/Q-TOF を稼働し続けることで、ダウンタイムを最小限に抑制します。キャリーオーバーから飽和まで、高速スクリーニングからサスペクトスクリーニングによる確認、反復 MS/MS に至るまで、機器が継続的にデータを取得するため、結果を得ることに集中できます。

## 機器の稼働時間を最大化



### 業務開始時には分析できる状態に

定期オートチューンを設定することで、業務開始後すぐに生産性を発揮できます。業務開始前に LC/Q-TOF のチューニングとキャリブレーションが完了するよう自動で設定したり、チェックチューンのレポートを定期的に生成するように指示したりできます。

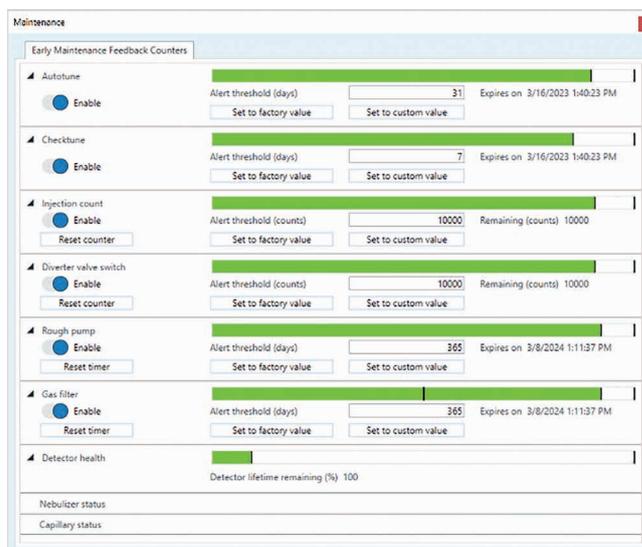


### Agilent VacShield によりメンテナンス時間を 92 % 短縮

LC/Q-TOF のメンテナンスがこれまで以上に簡単になりました。ベントによる真空開放と部品交換によるメンテナンスでは 6 時間以上かかっていましたが、VacShield によりキャピラリーの取り外しとクリーニングサイクルの実行時間を 30 分以内にまで抑えられます。確保できた貴重な時間で、前処理検討や解析を行うなど、サンプル分析に集中して取り組めるようになります。

### システムの状態をリアルタイムで確認

アーリーメンテナンスフィードバック機能により、機器自らが動作状態をモニタリングして、評価結果をリアルタイムで示します。各コンポーネントにモニタリング機能が組み込まれており、機器の状態を素早く簡単に確認して、健全性を把握できます。

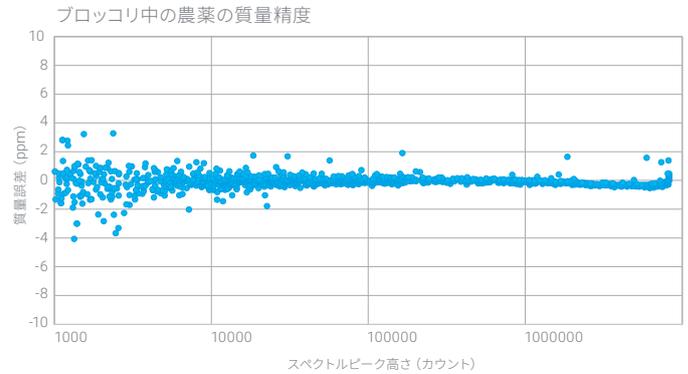
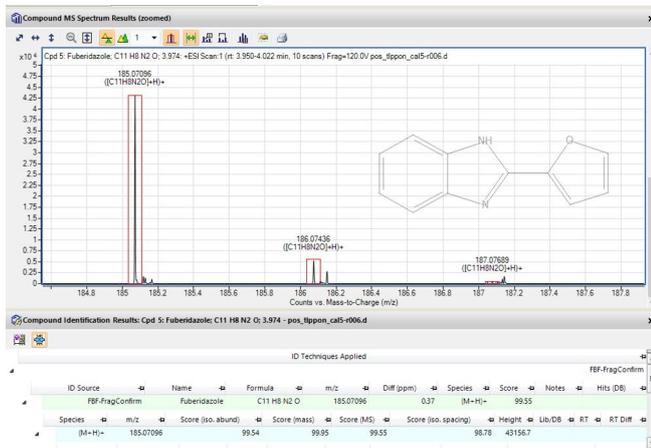


# 機器検出下限とスペクトル品質

## 分析感度の確かな指標に対する要求

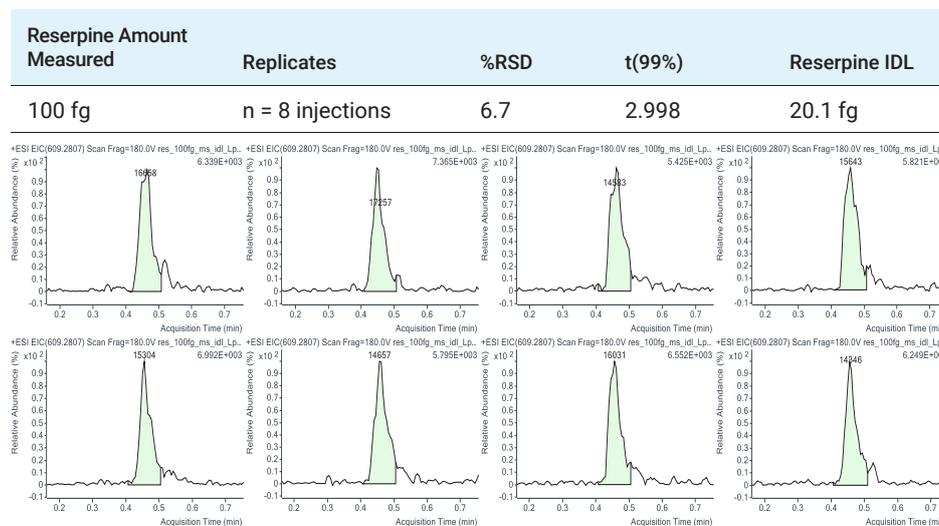
低ノイズの質量分析システムであるためには、真の分析感度を表す統計的基準、すなわちイオンカウントに比例した仕様を満たしていなければなりません。機器検出下限 (IDL) を使用して性能を測定することにより、アジレントは業界をリードしています。その特徴は以下のとおりです。

- レスポンス精度 (%RSD) の統計解析にもとづく厳格な指標
- 機器検出下限 (IDL) またはそれに近い濃度による測定
- 真の検出下限と定量下限および LLOQ の正確な評価
- 分析感度を一律に評価できる実用的な手段



Revident LC/Q-TOF では、広範囲にわたるアバダンスで優れた質量精度が得られます。

Revident LC/Q-TOF の同位体忠実度により、明確な同定が確保されます。



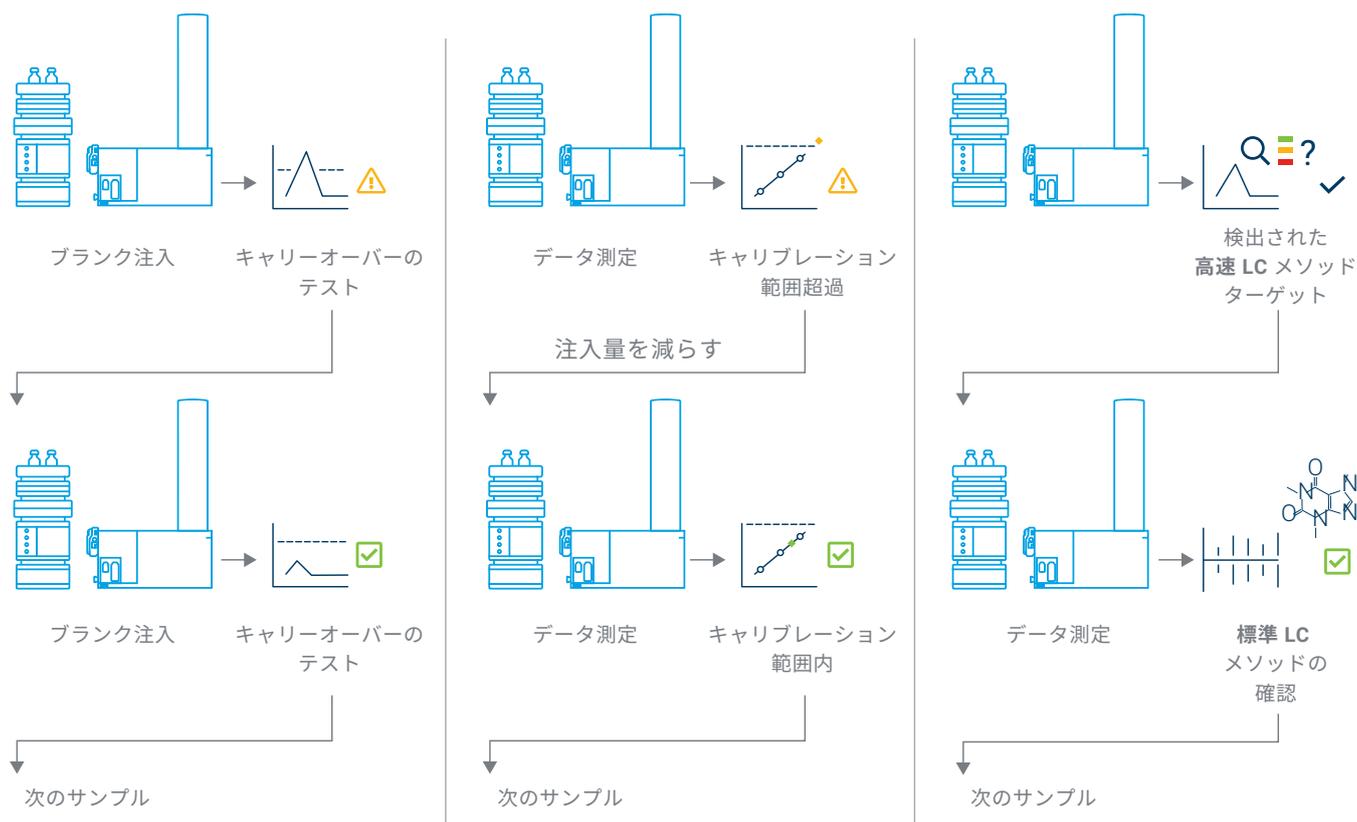
Revident LC/Q-TOF の検出下限 (DL) 付近の、8 回連続分析の抽出イオンクロマトグラム (EIC)。Revident LC/Q-TOF の低い DL 付近の、100 fg レセルピンの複数回注入。表は EIC と RSD の両方を示しています。

## 信頼性とスループットを向上させる Intelligent Reflex

Intelligent Reflex によって、ユーザーによる操作なしの自動再帰再注入ロジックが使用可能です。これにより、分析結果は設定されたオペレーションの限度内に確実に収まり、その信頼性も確保できます。

1. キャリーオーバー確認機能は、追加のブランク測定を行い、次のサンプルが前のサンプルの影響を受けないようにします。
2. キャリブレーション範囲超過機能が、サンプルがキャリブレーション範囲外かどうかを検出します。超過した場合、少ない量のサンプルを自動で再注入して測定します。
3. 高速スクリーニング機能は高速でサンプルを処理します。高速スクリーニングメソッド（短い LC グラジエント）でターゲット化合物が検出された場合、同じサンプルを自動的に通常の分析メソッド（標準グラジエント）でも分析します。ターゲット化合物が検出されない場合、システムは次のサンプルに移ります。

### Intelligent Reflex により、次のワークフローでラボのスループットが劇的に向上

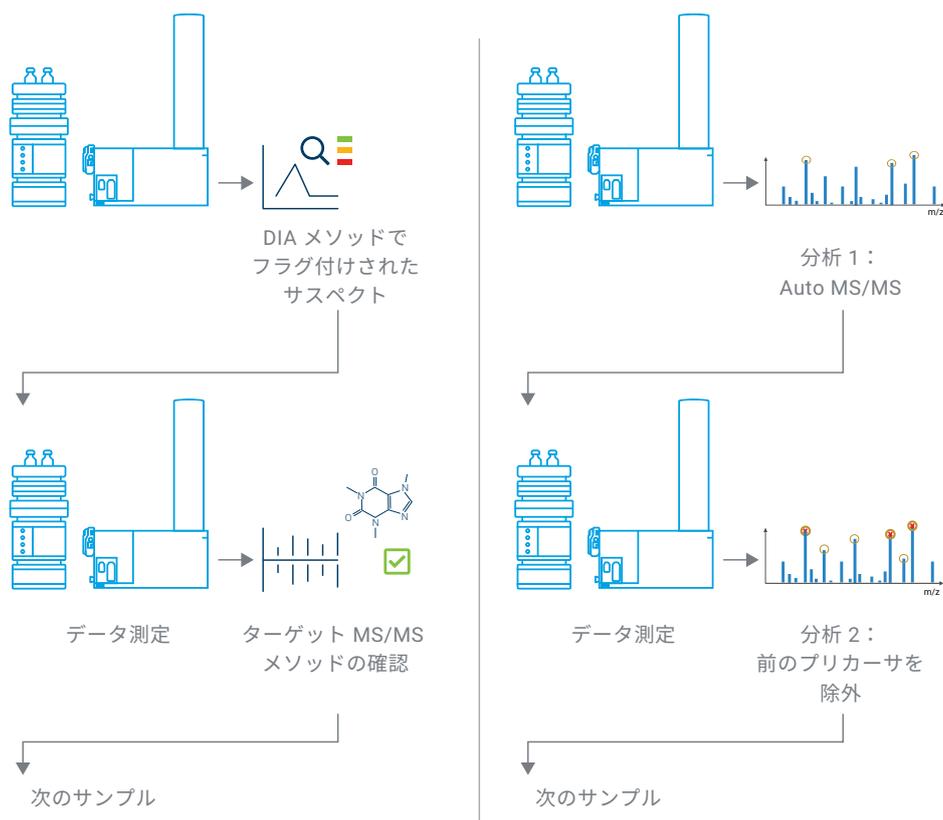


## 2つの LC/Q-TOF 専用ワークフロー

# サスペクト確認のためのターゲット MS/MS と イタレイティブ MS/MS

1. ターゲット/サスペクトスクリーニング Intelligent Reflex ワークフローで、機器の生産性を保てます。データ非依存型取り込み (DIA) スクリーニングの後、LC/Q-TOF Screener が自動でデータを評価し、次にワークリストの最後にターゲット MS/MS サンプル分析を実行して、四重極単離による優れた選択性でサスペクト化合物を確認します。
2. 反復 MS/MS によりサンプルを詳細に解析できます。Auto MS/MS 分析の後、定義済みリテンションタイムウィンドウのプリカーサイオンが後続の分析で自動的に除外されます。これを複数回繰り返すことにより、微量の化合物を分析することが可能です。

### Intelligent Reflex は以下のワークフローでもラボのスループットを向上

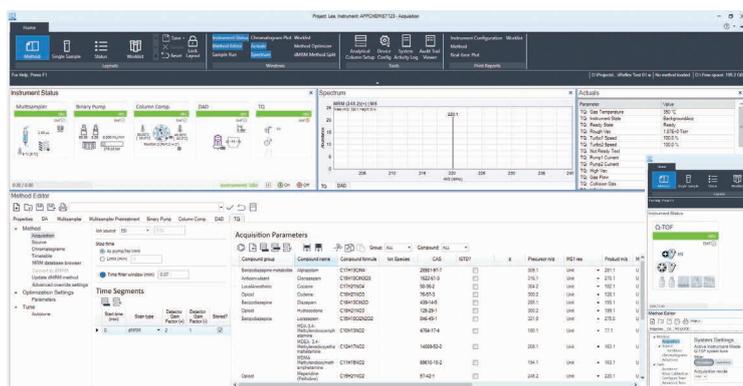


## Agilent LC/MS システムの能力を最大限に活用

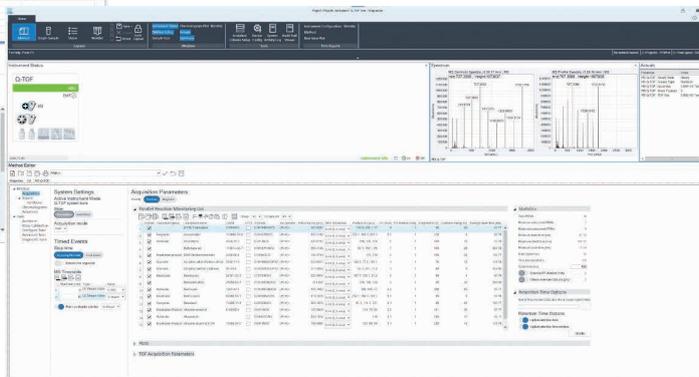
LC/MS システムの Agilent MassHunter Acquisition ソフトウェアは、装置の制御やデータ取り込みに必要な機能を備えています。自動チューニングにより装置を最適化したり測定メソッドを簡単かつ迅速に設定することで、シンプルで信頼性の高い装置の運用が可能です。MassHunter ソフトウェアは直観的に操作しやすい設計で、機器の必要な各設定を簡単に行うことができ、設定に煩わされることなく、サンプル測定に集中できます。

### LC/TQ と同様の操作

既存の LC/TQ メソッドから LC/Q-TOF システム への移行がこれまで以上に簡単になりました。同じ LC のメソッドファイルとソース条件を使用して、化合物ブラウザにより化合物とトランジションをインポートするだけです。

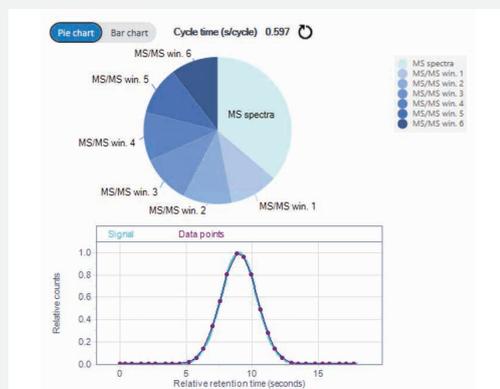
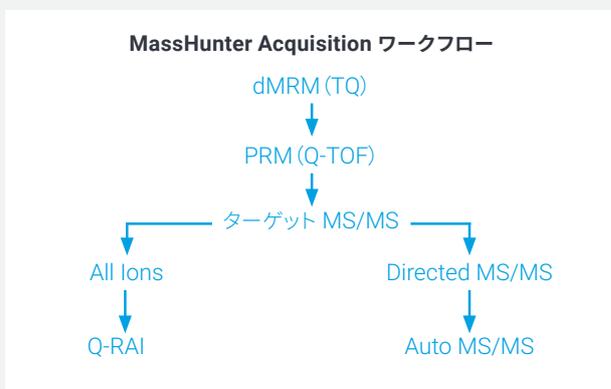


MassHunter Acquisition LC/TQ



MassHunter Acquisition LC/Q-TOF

メソッド移管の最初のステップとして、パラレルリアクションモニタリング (PRM) を使用して LC/Q-TOF 専用ワークフローを簡単に作成できます。これらのワークフローには、データ非依存型取り込み All Ions または Quadrupole Resolved All Ions (Q-RAI)、およびデータ依存型分析 (Directed MS/MS または Auto MS/MS) が含まれています。新しいデューティサイクルチャートがメソッド開発を促進します。

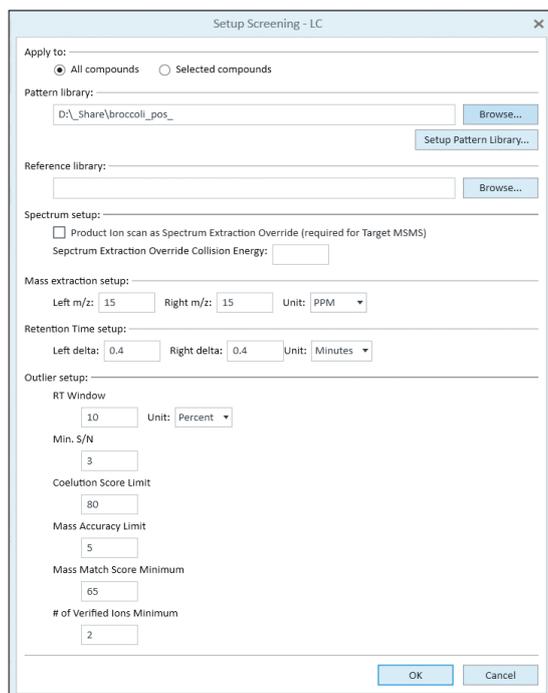


## 食品安全性のためのサスペクトスクリーニング

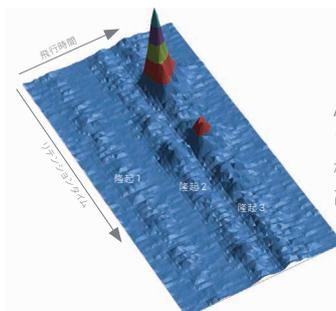
食品および飼料に含まれる残留農薬分析に関する欧州の SANTE ガイドラインでは、化合物の同定/定量の同時手順のために、特定の分析品質管理とメソッドバリデーションを求めています。LC/Q-TOF Screener ツールは設定を簡素化し、さらに分析結果の概要をユーザーフレンドリーな表示で参照できます。

Status	Promoted	Compound Name	CAS#	Formula	R.T.	R.T. Diff.	Final Conc.	Mass Match Score	Target Ion	Mass Accuracy	# of Verified Ions	Area	Height
✗	<input type="checkbox"/>	Teflubenzuron	83121-18-0	C14H6Cl2F4N2O2	12.651	0.109	109.1676	14.6	380.9815	-6.4112	0	648.0	141.1
✓	<input type="checkbox"/>	Oxadiazon	19666-30-9	C15H18Cl2N2O3	12.932	0.010	85.5098	91.2	345.0767	-2.0051	7	8282.4	1815.7
✓	<input type="checkbox"/>	Ethion	563-12-2	C9H22O4P2S4	12.988	0.001	95.4903	99.3	384.9949	-0.2621	8	626622.6	148734.2
✓	<input type="checkbox"/>	Pyriproxyfen (Pyriproxyfen)	95737-68-1	C20H19NO3	13.044	0.001	98.3939	100.0	322.1438	-0.2453	8	3942461.5	898287.3
✓	<input type="checkbox"/>	Quinoxifen	124495-18-7	C15H8Cl2FNO	13.157	0.001	98.1660	99.5	308.0040	-0.7470	9	1557662.6	344425.2
⚠	<input type="checkbox"/>	Chlorpyrifos-methyl	5598-13-0	C7H7Cl3NO3PS	13.269	0.010	120.2134	31.9	321.9023	2.5314	2	4551.7	1089.0
✓	<input type="checkbox"/>	Chlorpyrifos	2921-88-2	C9H11Cl3NO3PS	13.261	0.001	97.5931	98.1	349.9336	0.2233	9	76177.0	18316.3
✓	<input type="checkbox"/>	Hexythiazox	78587-05-0	C17H21ClN2O2S	13.374	0.001	97.5064	99.4	353.1085	-0.4868	9	620389.6	141181.7
✓	<input type="checkbox"/>	Pendimethalin (Penoxalin)	40487-42-1	C13H19N3O4	13.398	0.003	96.2361	98.5	282.1448	0.1828	7	115512.7	26451.1

SANTE/12682/2019 では、ユニット質量分解能と精密質量測定の両方に関して、食品および飼料中の残留農薬分析のための同定要件を設定しています。また、同定に必要なイオンの最小数を規定しています。この事例では、質量精度 5 ppm 未満の 2 つのイオンと、1 つ以上のフラグメントイオンが必要です。



共溶出スコアを含む、定性イオン/定量イオンの簡単な設定では、分子とフラグメントイオンのオーバーラップが定量的に示されています。

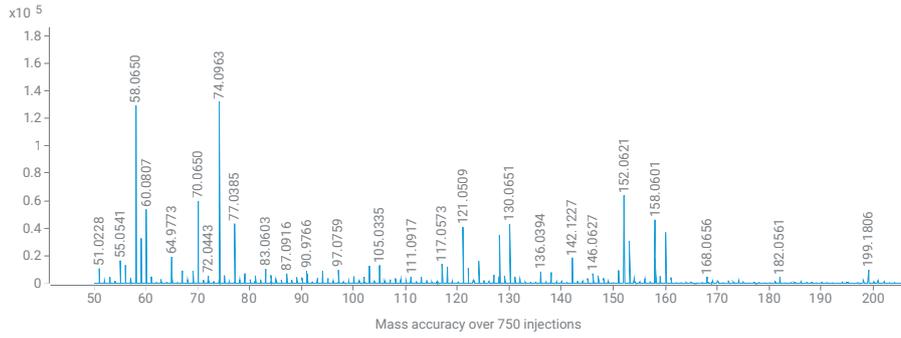
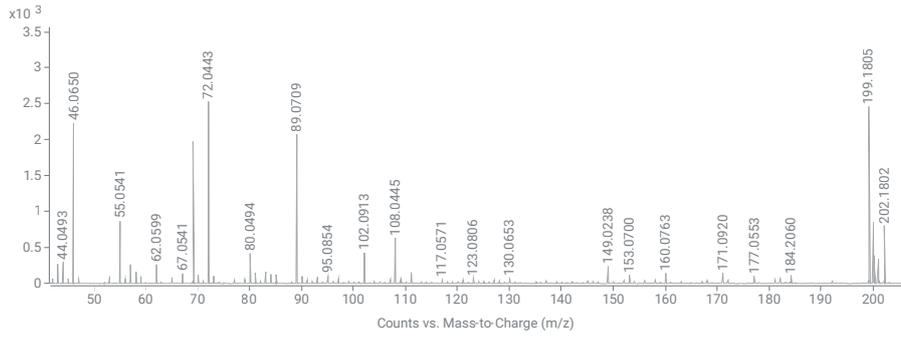


Agilent SureMass の 3D フィーチャー検出はプロファイルデータに基づいて特長と隆起を検出し、ノイズから化合物を区別しつつ、高感度の検出を可能にします。

同定には、プリカーサやプロダクトイオンの分離ピークは完全にオーバーラップしなければならないという、もう 1 つの要件があります。したがって、スクリーニングは MS のみのモードでは実行できません。また、完全なピークオーバーラップのクロマトグラフ要件により、単一スペクトルの同定 (通常は Auto MS/MS 手法で使用) は機能しません。そのため、DIA メソッドが最適な選択肢となります。

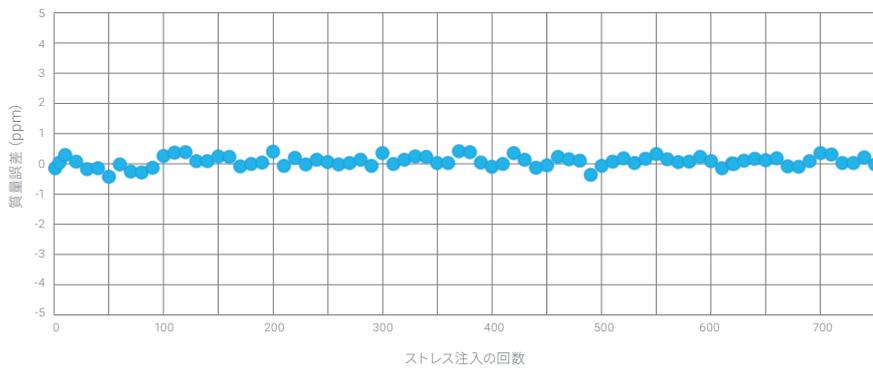
DIA All Ions モードでは、単離なしで 1 つ以上のコリジョンエネルギーが適用され、存在するすべてのイオンはフラグメント化されます。このデューティサイクル内で、ゼロ以外のコリジョンエネルギーからの分子およびフラグメントイオンを含め、ゼロコリジョンエネルギーの MS のみのスペクトルが取得されます。

このメソッドは完全にオーバーラップした分離ピークを生成し、LC/Q-TOF Screener に表示されるオーバーラップに対して定量的メトリックとして共溶出スコアを示します。



Intelligent Reflex は、DIA のために効率的なスクリーニングを実現します。スクリーニング後にはターゲット MS/MS でサスペクト化合物を確認します。DIA (上) とターゲット MS/MS (下) のフラグメントスペクトル。DIA でこれまで疑問が残っていた化合物をターゲット MS/MS を用いて確認します。

オムトエートの結果、平均誤差 = 0.1 ppm



750 回の注入を通じた農業オムトエートの質量精度

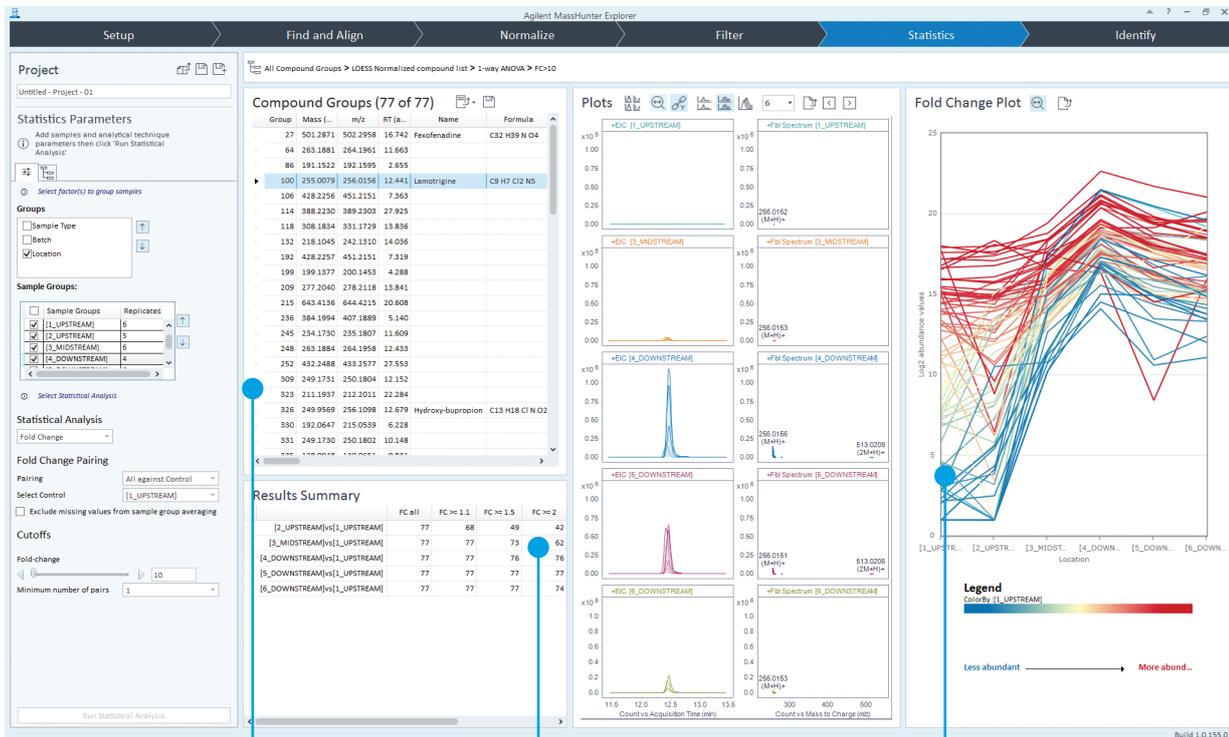


## 未知の新規汚染物質の同定

環境汚染は、既存のエコシステムに対して拡大しつつある脅威です。環境中に放出されるあらゆる種類の化学物質には、特に十分に分解されないものなど、想定外の悪影響を及ぼす可能性があります。その中には、PFOS などの「永続的に残留する」ペルフルオロアルキル化合物とポリフルオロアルキル化合物 (PFAS) や、その他数千の同様の代替化合物が含まれます。

ノンターゲットデータ抽出と差分析を対象とした Agilent MassHunter Explorer は、フィーチャー検出、化合物アラインメント、正規化、フィルタリング、統計解析のステップがすべて統合されているユーザーフレンドリーなソフトウェアで、対象化合物の分析に注力できるようにします。抽出化合物は、既知の精密質量や同位体パターンのほか、オプションでパブリック/プライベートのスペクトルライブラリとデータベースからのリテンションタイムにより、推定同定されます。

### 同定を容易化する統合ツール搭載の MassHunter Explorer



ノンターゲット  
抽出化合物

化合物推定同定の結果

統計解析の結果

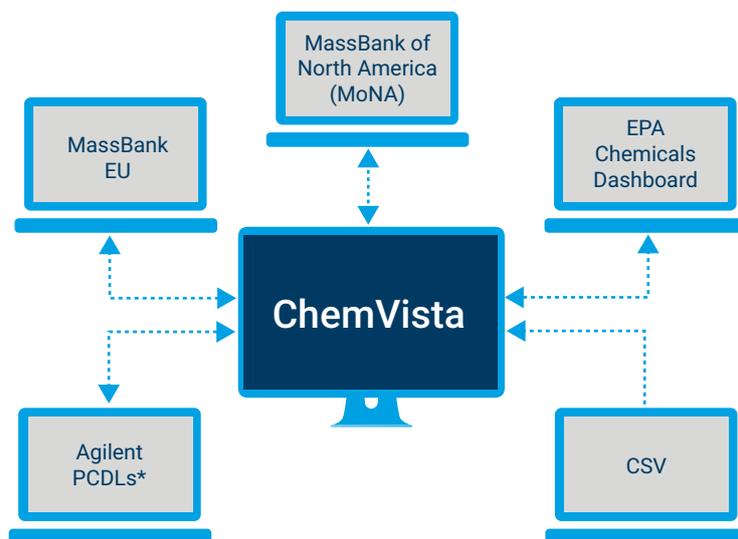
1つのアプリケーションですべての結果をレビュー

「MassHunter Explorer ソフトウェアにより、個々のサンプルから全体像へ、すばやく移ることができます。関連性をもって大量のデータを調べることが可能です。したがって、できるだけ迅速に回答を得られるように選択できます」

- Imma Ferrer  
研究科学者、コロラド大学

## 同定機能を拡大

Agilent ChemVista ソフトウェアは、化合物中心のアーキテクチャを用いて効率的にスペクトルを整理、管理、編集することが可能です。MassHunter Data Analysis アプリケーションなどを対象に同定ワークフローを促進します。このスタンドアロンソフトウェアは、MassBank や MoNA などの複数のソースから、化合物、リテンションタイム、質量スペクトル情報を重複なく統合します。



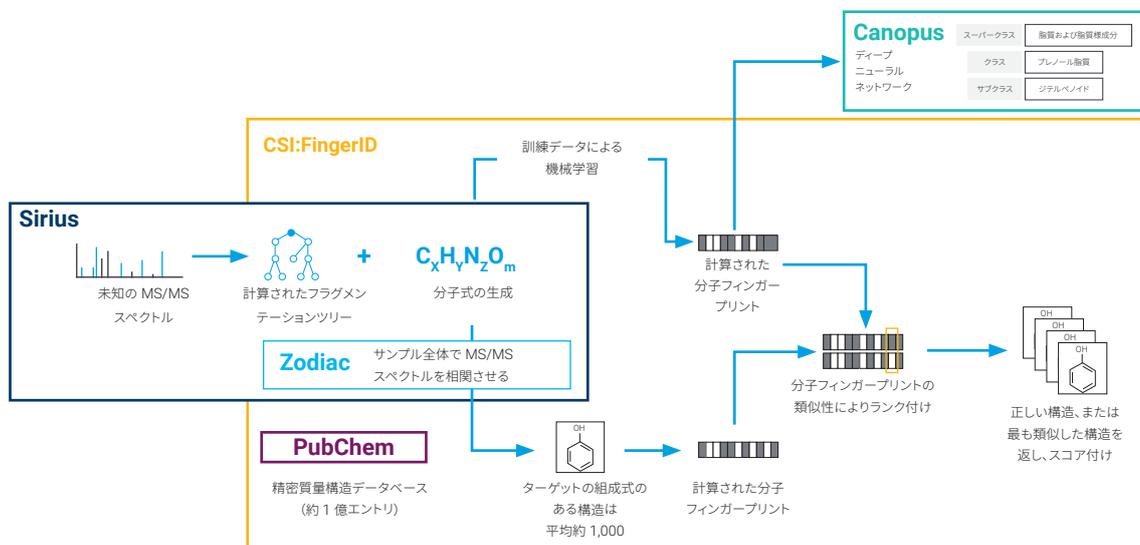
\*PCDL：精選されたパーソナル化合物データベースライブラリ



## 確実な構造確認のためのコラボレーション

Sirius や CSI:FingerID などのパートナー企業のソフトウェアにより、対象化合物の予測構造が得られます。

最初のステップで、Sirius は実験フラグメントスペクトルを参照し、フラグメンテーションツリーと組成式を生成します。次に、CSI:Finger ID がフラグメンテーションツリーを自らの機械学習データセットに取り入れ、フィンガープリントを作成します。このフィンガープリントが PubChem や HMDB などのオンラインデータベースの化合物と照合されます。最後に、ソフトウェアは類似性の観点からすべてのオプションをランク付けし、高い信頼度で構造と ID 名を確定します。



Agilent MS データファイルは以下のプラットフォームと互換性があります。



## サンプル前処理から知見獲得まで研究を促進

アジレントは、リポミクス、プロテオミクス、ゲノミクス研究のための包括的なソリューションを提供しています。例えば、Agilent Bravo Metabolomics Sample Prep Platform、Agilent 1290 Infinity II LC システム、Revident LC/Q-TOF、Agilent 6495 LC/TQ システム、Agilent Seahorse XF Pro アナライザなどがあります。アジレントは業務のあらゆる段階をサポートするオミクス分析ワークフローをご用意しています。

### 液体クロマトグラフィー

#### Agilent 1290 Infinity II LC システム

優れた分離性能と検出性能を提供します。

### トリプル四重極 LC/MS

#### ターゲット分析のための Agilent 6495 LC/TQ システム

分子レベルで代謝調節を把握できます。



### 四重極飛行時間型 LC/MS

#### ノンターゲット分析のための Agilent Revident LC/Q-TOF

低分子分析のための同定を画期的に変化させます。

### サンプル前処理

#### Agilent Bravo Metabolomics Workbench

簡単な操作で一貫性と信頼性の高いプラズマサンプル前処理を実行できます。

### 細胞解析

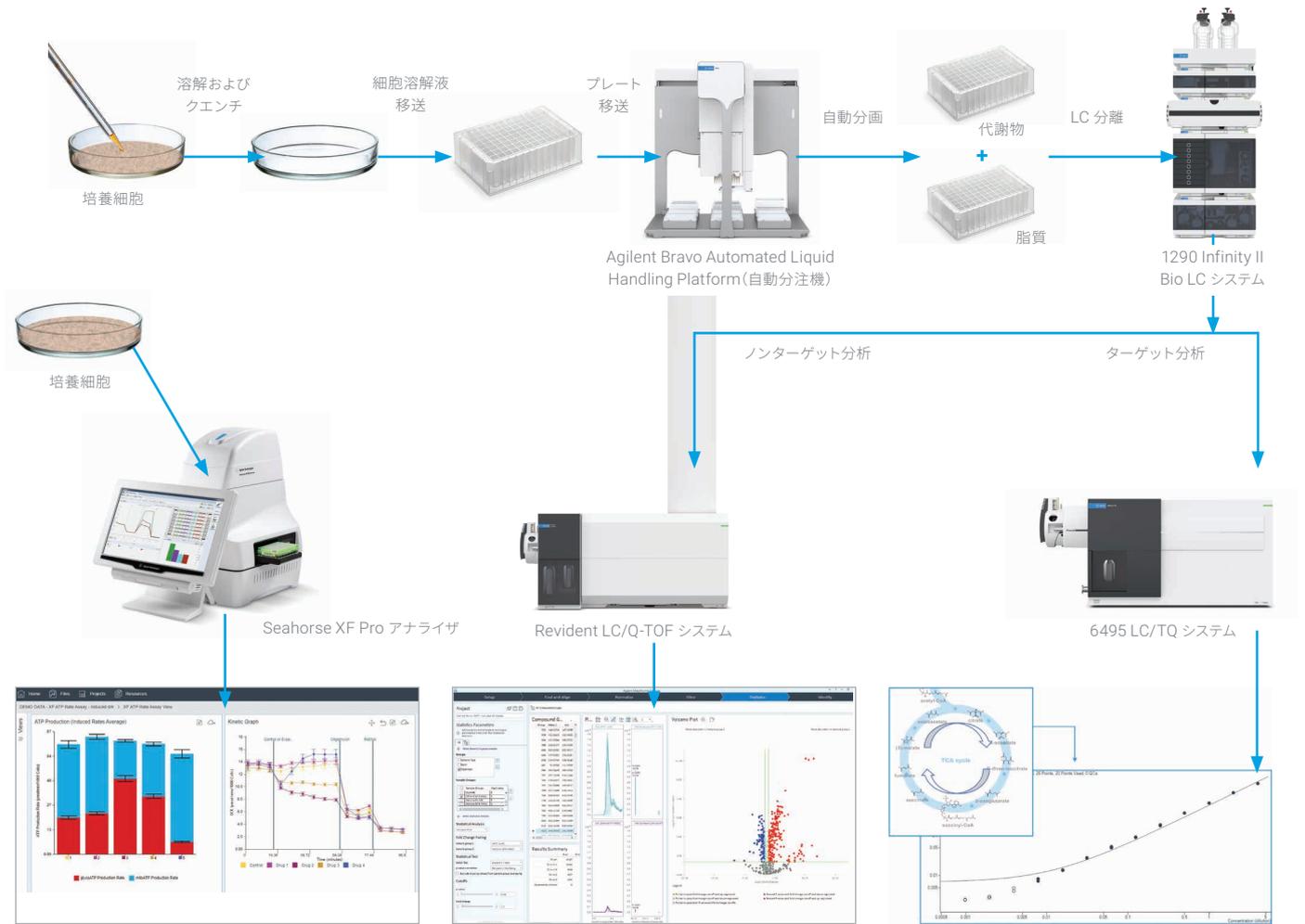
#### Agilent Seahorse XF Pro アナライザ

生細胞のリアルタイム測定を通じて代謝機能を確認し、細胞シグナル、活性化、増殖、毒性、生合成の重要な駆動因子を明らかにします。

## 細胞生物学を促進する包括的なワークフロー

Seahorse XF Pro アナライザと LC/Q-TOF の結果を組み合わせることで、細胞および分子レベルで代謝経路の利用を測定できます。

このワークフローでは、運動酸素消費速度とプロトン流出速度データが、解糖とミトコンドリア呼吸に特有のアデノシン三リン酸産生速度に変換されます。変換データから、細胞レベルのエネルギー表現型に対する薬物療法の影響に関して、概要を定量的に把握できます。



## データインテグリティとコンプライアンス管理

現在、業界を問わず、ラボのデータの保護と管理はますます複雑になっています。アジレントは以下を実現するデータシステムの導入を支援します。

- システムアクセスの制限。権限を持つユーザーだけが LC/Q-TOF データに変更を加えられるようにします。役割を割り当て、それぞれに異なるアクセスレベルを設定します。また、ドメインを使用して、ユーザーごとに一意の ID とパスワードを提供します。
- 記録の保護。すべての生データ、メタデータ、結果データが、安全な場所に保存されるようにします。チェックサムによって、記録が有効か無効か、あるいは変更されていないかを確認できます。
- 責任の所在を包括的に管理。ユーザーのすべての作業がタイムスタンプ付きのセキュアな監査証跡に記録されるため、誰が、何を、どこで、いつ、どんな理由で変更したかを再構成できます。
- 監査証跡レビューの文書化。監査証跡レビューを確認できるため、記録と監査証跡を同時にチェックできます。

### 複数地域のコンプライアンスガイドラインに対応

- FDA 21 CFR Part 11
- EU Annex 11
- GAMP5

Name	Date	Description	Category	Reason	Host Name	Software Name
Quant User	2021-06-17-15:45:51-07:00	Save method to file /Alpha/Data/MH Quant workflow guide/Method/Quant Targets and Suspects.m	CmdSaveMethodAs		DESKTOP-6AKTV97	MassHunter Quantitative Analysis
Quant User	2021-06-17-15:46:39-07:00	Set batch attribute RefLibraryPatternPathFileName = ; previous value = /MH Quant Food Safety Allions/Data/Food Safety Allions.pattern.reflibrary.xml	CmdSetBatchExtendedProperty		DESKTOP-6AKTV97	MassHunter Quantitative Analysis
Quant User	2021-06-17-15:46:33-07:00	Save method to file /Alpha/Data/MH Quant workflow guide/Method/Quant Targets and Suspects.m	CmdSaveMethodAs		DESKTOP-6AKTV97	MassHunter Quantitative Analysis
Quant User	2021-06-17-15:47:18-07:00	Apply method to all samples	CmdApplyMethodToAllSamples		DESKTOP-6AKTV97	MassHunter Quantitative Analysis
Quant User	2021-06-17-15:47:18-07:00	Clear method	CmdMethodClear		DESKTOP-6AKTV97	MassHunter Quantitative Analysis
Quant User	2021-06-17-15:47:18-07:00	End method editing	CmdEndMethodEditing		DESKTOP-6AKTV97	MassHunter Quantitative Analysis
Quant User	2021-06-17-15:48:09-07:00	Save batch /Alpha/Data/MH Quant workflow guide/Data/Alpha.batch.bin	CmdSaveBatchTable		DESKTOP-6AKTV97	MassHunter Quantitative Analysis
Quant Reviewer	2021-06-18-07:44:26-07:00	Open batch /Alpha/Data/MH Quant workflow guide/Data/Alpha.batch.bin	CmdOpenBatchTable		DESKTOP-6AKTV97	MassHunter Quantitative Analysis
Quant Reviewer	2021-06-18-07:45:38-07:00	Reviewed by Quant Reviewer	Audit trail review	Reviewed and verified correct	DESKTOP-6AKTV97	MassHunter Quantitative Analysis
Quant Reviewer	2021-06-18-07:47:18-07:00	Save batch /Alpha/Data/MH Quant workflow guide/Data/Alpha.batch.bin	CmdSaveBatchTable		DESKTOP-6AKTV97	MassHunter Quantitative Analysis
Quant User	2021-06-18-07:48:04-07:00	Open batch /Alpha/Data/MH Quant workflow guide/Data/Alpha.batch.bin	CmdOpenBatchTable		DESKTOP-6AKTV97	MassHunter Quantitative Analysis
Quant User	2021-06-18-07:53:29-07:00	Analyze batch	CmdAnalyze		DESKTOP-6AKTV97	MassHunter Quantitative Analysis
Quant User	2021-06-18-07:53:32-07:00	Save batch /Alpha/Data/MH Quant workflow guide/Data/Alpha.batch.bin	CmdSaveBatchTable		DESKTOP-6AKTV97	MassHunter Quantitative Analysis



### コンプライアンスに関する最新の専門知識を活用

CrossLab コンプライアンスサービスには、データインテグリティに重点を置いた機器/ソフトウェアの適格性評価、コンサルティング、カスタムバリデーションなどのサービスが含まれているため、お客様は業務に専念できます。

CrossLab サポートサービスの[ホームページ](#)をご覧ください

## InfinityLab ソリューションにより、LC/MS の効率が大幅に向上

Agilent InfinityLab LC 機器、カラム、消耗品は、組み合わせて使用することで効率が高められる設計となっており、生産性の増大と運用コストの低減を実現します。

### InfinityLab LC 機器

Agilent InfinityLab LC シリーズでは HPLC および UHPLC システムを取り揃え、ルーチン分析から最先端の研究まで、アプリケーションや予算に応じてお選びいただけます。

### InfinityLab LC カラム

Agilent InfinityLab Poroshell 120 LC カラムは 3 種類の粒子サイズと 20 種類の結合相を提供。幅広い選択性のカラムからお選びいただくことができ、メソッド開発が迅速かつ容易になります。

### InfinityLab LC 消耗品

ワークフローの小さな部分が、分析結果の品質に大きな違いをもたらす可能性があります。Agilent InfinityLab 消耗品は、日々の作業を効率化する設計となっています。



Agilent  
CrossLab

From Insight to Outcome

### 優れた成果をサポート

Agilent CrossLab は、サービスと消耗品を統合することで、お客様のワークフローをサポートし、生産性や運用効率の向上を実現するためのお手伝いをさせていただきます。あらゆる場面で「見えない価値」を提供し、お客様の目標達成を支援します。

CrossLab の詳細については、[ホームページ](#)をご覧ください。



## エラーを最小限に抑制し、分析間の一貫性を向上

Agilent University は、コスト効率に優れた柔軟なトレーニングオプションによって、ラボリソースの計画、優先度設定、管理に貢献します。チームは、効率を高めてダウンタイムを大幅に低減するための知見も得られます。さらに、対面式、バーチャル、オンラインなど、お客様に最適なトレーニング形式を選択することができます。

詳細については、[Agilent University のホームページ](#)をご覧ください。

ホームページ

[www.agilent.com/chem/jp](http://www.agilent.com/chem/jp)

カスタマコンタクトセンタ

0120-477-111

[email\\_japan@agilent.com](mailto:email_japan@agilent.com)

本製品は一般的な実験用途での使用を想定しており、医薬品医療機器等法に基づく登録を行っていません。本文書に記載の情報、説明、製品仕様等は予告なしに変更されることがあります。

RA45058.4701388889

アジレント・テクノロジー株式会社  
© Agilent Technologies, Inc. 2023  
Printed in Japan, June 5, 2023  
5994-5989JAJP